

土 地 改 良 事 業 計 画 書

( 農 地 競 争 力 強 化 農 地 整 備 事 業 )

蒲江・油江地区

京 都 府

## 第1章 目 的

本地区は京都府の北東部に位置し、一級河川由良川沿いに位置する農地であり、用水は湧水や周辺山林からの流入に頼った不安定な体系である。また本地区は低平地で・用排兼用水路のため排水不良に加え、大雨の度に農地が冠水し、大型機械の使用が困難である。さらに農業従事者の高齢化や減少および農業水利施設の老朽化が進んでいることもあり、地区農業従事者の営農意欲が低下している現状である。

よって、農地の大区画化を行い、作業の効率化を図るとともに、担い手への集積を図り、農業経営規模も拡大を行う。また、付加価値のある高収益作物の導入を図る。

## 第2章 地域および地積

### 第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農地競争力強化農地整備事業	京都府舞鶴市字蒲江・油江

### 第2節 地 積

(令和6年8月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	道水路敷 (ha)	山林・原野 (ha)	雑種地 (ha)	ため池 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名									
農地競争力強化農地整備事業	舞鶴市	21.2	0.2	2.7					24.1	区画整理
合 計		21.2	0.2	2.7	0	0	0	-	24.1	

### 第3章 現 況

#### 第1節 気象及び海象

##### 1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	京都地方気象台 舞鶴観測所	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観測期間	平成2年～令和1年	5月～9月	10月～4月		
平均気温 (℃)		23.0℃	8.9℃	16.0℃	基準年：平成22年
降水量	平均 (mm)	866.8	1056.9	1,293.7	
	基準年 (mm)	789.0	1213.5	2,002.5	
降水日数	平均 (日)	62.0	113.0	175.0	1mm以上の日数
	基準年 (日)	60.0	119.0	179.0	
根雪期間		-			
無霜期間		-			
最多風向		北北東	最大風速 (風向)	25.1 m/s (N)	最多風向発生時期 1月～12月 最大風速発生年月日 H16.10.20

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位		
	数	年 月 日	発 生 確 率	数	年 月 日	発 生 確 率	数	年 月 日	発 生 確 率	数	年 月 日	発 生 確 率	数	年 月 日	発 生 確 率
観測期間	平成2年～令和1年														
最大日雨量 (mm)	277.0	2004.10.20		267.0	2017.10.22		208.5	2018.7.7		168.5	2013.9.15		168.0	2011.5.29	
最大時間雨量 (mm)	60.5	2018.7.7		50.5	2019.10.3		47.5	1996.7.19		47.0	2017.9.17		45.0	2012.9.3	
最大4時間雨量 (mm)	140.5	2018.7.7		131.0	2017.10.22		116.0	2004.10.20		109	2017.9.17		104	1998.9.22	
最大連続雨量 (mm)															
最大連続干天日数 (日)	40.0	1994. 7/9～ 8/17		39.0	2000. 7/26～ 9/2		32.0	2018. 7/8～8/8		31	2002. 7/19～ 8/18		29	2006. 7/30～ 8/27	

3. 海象 該当なし

(第3表-3)

観測所名	観測期間	既往最高潮 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮 (m)	備考
実測値	年～年								

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他							受益地標高(m)		備考		
		傾斜	1/1000	1/1000 ～	1/300 ～	1/100 ～	1/15 ～	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～ 15°			15° ～ 20°	20° 以上	計		最高	最低
			以下	1/300	1/100	1/15	以上				8° ～ 10°	10° ～ 15°	8° ～ 15°						
農地競争力強化	面積 (ha)	4.1	10.1	2.0	0.4		16.6									2.00	1.30		
	比率 (%)	24.6	60.8	12.2	2.4		100												
合計	面積 (ha)	4.1	10.1	2.0	0.4		16.6									2.00	1.30		
	比率 (%)	24.6	60.8	12.2	2.4		100												

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土壌統(区)区分一覧表										面積 (ha)			備考	
	土壌断面								堆積様式	母材	事業名				
	色	腐植	礫層 (cm)	酸化沈殿物	土性			泥炭層 黒泥層 及び グライ層 (cm)			業 農 地 競 争 力 強 化	計			
					表土	下層土									
				一層	二層	三層									
グライ土壌 粘土型 E42	青灰色	—	—	—	f2	F	—	0～100	—	—	9.7			9.7	
グライ土壌 粘土型 E42	黒色	—	—	—	f2	Vf	—	0～100	—	—	7.1			7.1	
計											16.8			16.8	

侵食の程度 該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガリ 侵 食 の 程		備 考
		0	0~25%	25~50%	50%以上	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積 (ha)											
	比率 (%)											

2. 土 地 分 類 該当なし

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農 用 地 造 成										計	備 考
		二 級 地				三 級 地				四 級 地			
	一級地	*	3° ~8°	8° ~12°	12° ~15°	*	15° ~20°	20° ~25°	25° ~30°	*	30° 以上	(ha)	
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	

(第4表-2-2)

市町村名	級地別	干 拓					計	備 考
		一級地	二級地	三級地	四級地			
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
	計							

3. 土地利用の状況

(令和6年8月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村別	耕地			道水路 (ha)	山林・原野 (ha)	雑種地 (ha)	ため池 (ha)	その他 (ha)				計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)											
農地競争力強化農地整備事業	舞鶴市	21.2	0.2		2.7								24.1	
	計	21.2	0.2		2.7								24.1	

4. 土地所有の状況

(令和6年8月現在) (第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人 所有	集 落 有	市 町 村 有	県 有	計	備考
受益者数 (人)	61				61		
筆数 (筆)	441				441		
権利関係	91				91		
備考 (関係戸数)	91				91		

### 第3節 水利状況

#### 1. 用水状況

本地区の用水は湧水や周辺山林からの流入に頼った不安定な状況で農地にかんがいしている。ほ場は小区画であり、場内開水路は一部ライニング水路となっているが狭小でかなり老朽化が進んでいる。

##### (1) 用水系統

別紙参照

##### (2) 用水施設

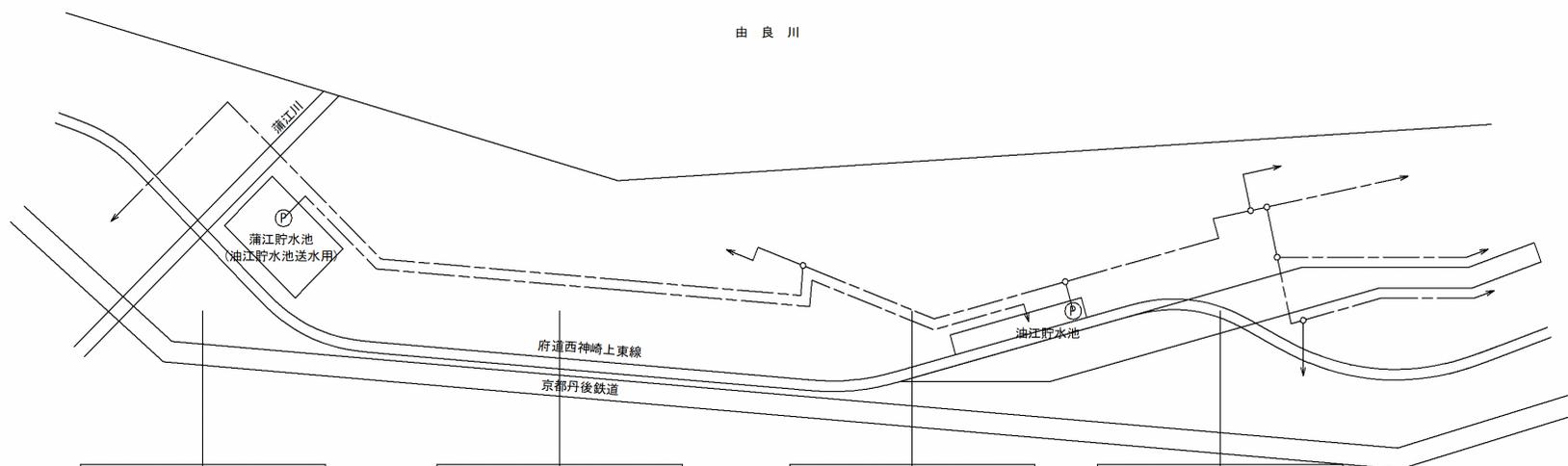
##### (ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		100ha以上		100～50ha		50ha未満		箇所	ha	箇所	m <sup>3</sup> /s	箇所	m <sup>3</sup> /s	m <sup>3</sup> /s	
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
農地競争力強化農地整備事業	貯水池														
	井堰														
	自然取入口					1	21.4	1	21.4			1	0.039	0.0389	
	揚水機														
	その他														
	計					1	21.4	1	21.4			1	0.0389	0.0389	

現況用水系統模式図

現況用水系統模式図



ブロック名	ブロック1
面積 (ha)	2.80
代かき期通水量	0.0049
普通期通水量	0.0040

ブロック名	ブロック2
面積 (ha)	0.50
代かき期通水量	0.0009
普通期通水量	0.0008

ブロック名	ブロック3
面積 (ha)	4.50
代かき期通水量	0.0078
普通期通水量	0.0062

ブロック名	ブロック4
面積 (ha)	14.20
代かき期通水量	0.0253
普通期通水量	0.0201

ブロック名	ブロック1(地区内)		
面積 (ha)	2.80		
	所要水量	利用可能量	不足量
代かき期	0.0049	0.0049	0.0000
普通期	0.0040	0.0040	0.0000

ブロック名	ブロック2(地区内)		
面積 (ha)	0.50		
	所要水量	利用可能量	不足量
代かき期	0.0009	0.0009	0.0000
普通期	0.0008	0.0008	0.0000

ブロック名	ブロック3(地区内)		
面積 (ha)	4.50		
	所要水量	利用可能量	不足量
代かき期	0.0078	0.0078	0.0000
普通期	0.0062	0.0062	0.0000

ブロック名	ブロック4(地区内)		
面積 (ha)	13.60		
	所要水量	利用可能量	不足量
代かき期	0.0242	0.0242	0.0000
普通期	0.0192	0.0192	0.0000

ブロック名	ブロック1(地区外)		
面積 (ha)	0.00		
	所要水量	利用可能量	不足量
代かき期	0.0000	0.0000	0.0000
普通期	0.0000	0.0000	0.0000

ブロック名	ブロック2(地区外)		
面積 (ha)	0.00		
	所要水量	利用可能量	不足量
代かき期	0.0000	0.0000	0.0000
普通期	0.0000	0.0000	0.0000

ブロック名	ブロック3(地区外)		
面積 (ha)	0.00		
	所要水量	利用可能量	不足量
代かき期	0.0000	0.0000	0.0000
普通期	0.0000	0.0000	0.0000

ブロック名	ブロック4(地区外)		
面積 (ha)	0.60		
	所要水量	利用可能量	不足量
代かき期	0.0011	0.0011	0.0000
普通期	0.0009	0.0009	0.0000

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名							
農地競争力強化農地整備事業	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路	2系統	21.4	土水路、二次製品等		不明	老朽化による漏水	
	その他							
	計		21.4					

(3) 用水に関する被害状況 該当なし

(ア) 用水不足による被害状況 該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m <sup>3</sup> )	不足水量				平均減産量		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量 (t)	
				平均 (m <sup>3</sup> )	基準年 (m <sup>3</sup> /日)	平均 (千m <sup>3</sup> )	基準年 (千m <sup>3</sup> )			
	計									

(イ) その他の被害状況 該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温 (°C)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況 該当なし

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)					備考	
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他		計
計											

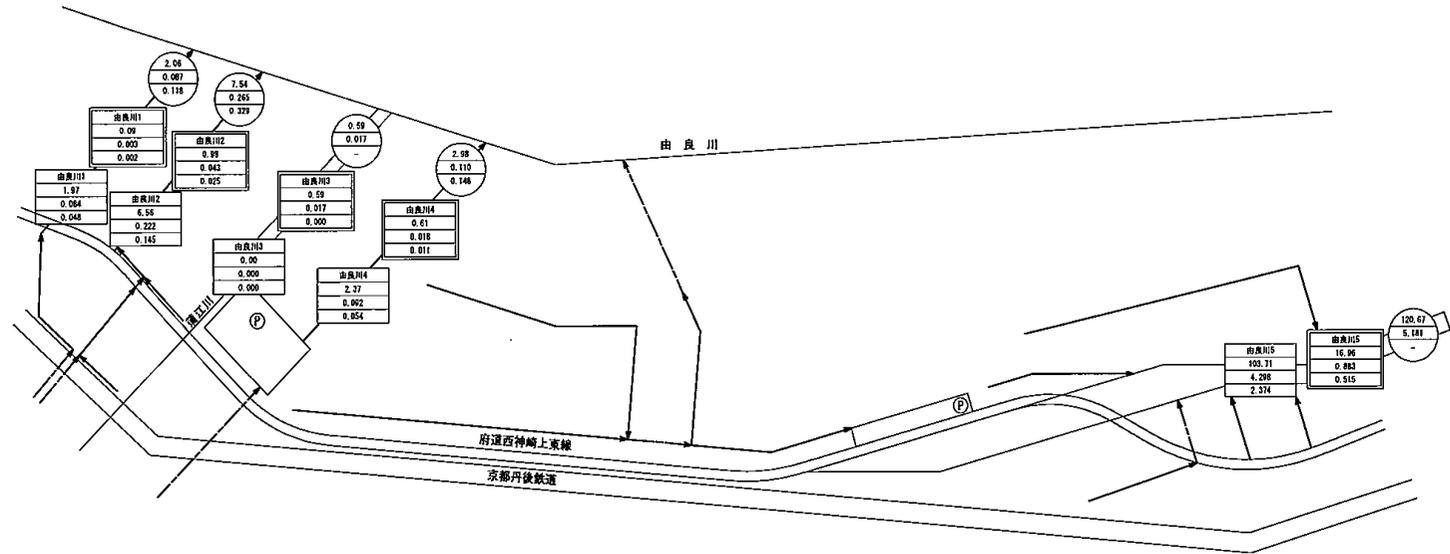
2. 排水状況

排水路はライニング及び土水路で整備が行われているが、一部ライニング水路は老朽化が進み漏水が見受けられる。当該地区全体、特に油江地区では由良川の水位状況により降雨時には周囲からの浸透水によるほ場地下水の上昇や河川への排水放流の不良による滞水が発生しており、営農に支障を来している。

(1) 排水系統 別紙参照

# 現況排水系統模式図

現況排水系統模式図



凡例		地区内	地区外	面積
	地区界	系統番号	系統番号	面積 1/10流下量 通水能力
	既設利用	流域面積 (ha)	流域面積 (ha)	
	本事業で施工	1/10排水量 (m3/s)	1/10排水量 (m3/s)	
		1/2排水量 (m3/s)	1/2排水量 (m3/s)	

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目		排水面積						計		排水慣行	現況排水能力	備考
			500ha以上		500～100ha		100ha未満						
	施設名		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	m <sup>3</sup> /s	m <sup>3</sup> /s	
農地競争力強化農地整備事業	自然	排水路					4	13.2	4	13.2	4.31		
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機					1	120.6					
		排水路及び排水機											
	計				0	0.0	5	133.8	5	133.8	4.31		
合計				0	0.0	5	133.8	5	133.8	4.31			

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
農地競争力強化農地整備事業	自然	排水路	4	13.2	土水路、二次製品水路等			不明	老朽化による漏水
		水門							
	機械	排水機			スライドゲート			不明	老朽化による漏水
		水門及び排水機	1	120.6					
		排水路及び排水機							
	計		5	133.8					
合計			133.8						

(3) 排水に関する被害状況 該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m <sup>3</sup> )	田		畑		その他		減産量		
									乾	湿	乾	湿	乾	湿	作物名	減産量 (t)	
			平均														
			基準年														
	計		平均														
			基準年														

3. 河川状況 該当なし

(1) 河川状況

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量	既往最大洪水量	備考
				(m <sup>3</sup> /s)	(m <sup>3</sup> /s)	

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

項目	農用地	農用施設	作物	公共施設	備考
区分	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	
過去の最大被害額					
平均被害額					

## 第4節 道路状況

### 1. 道路概況

本地区の道路状況は、地区と並行して京都府道571号西神崎上東線が配置されており、この道路から地区に進入するその他の市道や農道が設置されている道路形態となっている。ただし地区内の農道は狭小であるため、農作業者の走行に十分な道路は整備はされておらずほ場への進入に支障をきたしている状況にある。

### 2. 主要道路一覧表

(第6表)

No	路線名	管 理 区 分 別	延 長 (km)	幅 員 (m)		構 造	改 修 の 要 否	備 考
				全 幅	有 効			
1	市道	舞鶴市	1.4	3.0		土羽・砂利	要	
2	農道	地元	3.7	2.0		土羽・砂利	要	

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(令和5年度舞鶴市統計書)

(第7表-1)

市町村名	項目 数 (人)	農業・林業 (人)	漁業 (人)	鉱業・採石業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気・ガス・熱供給・水道業 (人)	情報通信業 (人)	運輸業・郵便業 (人)	卸売業・小売業 (人)	金融業・保険業 (人)	不動産業・物品賃貸業 (人)	専門技術・サービス業 (人)	宿泊業・飲食サービス業 (人)	娯楽・文化・スポーツ業 (人)	生活関連業 (人)	支援・学習業 (人)	医療・福祉 (人)	複合サービス業 (人)	その他(分類不能のものを含む)	サービス業(分類不能のものを含む)	公務員(他)	産分類不能の業 (人)	備考
舞鶴市	37,511	1,310	226	11	3,592	4,760	173	113	1,508	5,195	619	425	574	1,920	1,093	1,949	5,198	382	2,172	5,343	948			
比率(%)	100.0	3.5	0.6	0.0	9.6	12.7	0.5	0.3	4.0	13.8	1.7	1.1	1.5	5.1	2.9	5.1	13.8	1.0	5.7	14.2	2.5			

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(2020年農林業センサス)

(第7表-2)

市町村名	区分 農家総戸数 (戸)	経営農地広狭別農家数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)				耕地の分散状況		専・兼業農家数 (戸)			備考			
		例外規定の適用を受けるもの 未	0.3 ha未満	0.3 ~ 0.5	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ~ 10.0	10.0 ~ 20.0	20.0 ha以上	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当たり数 (ha)	団地当り積り積 (ha)		専業	兼業	
																								第1種	第2種
舞鶴市	594		14	246	236	46	15	8	10	6	5	1	7	0.76	0.11	0.03	0.90	0	0.90			73	61	461	
比率(%)	100	0.0	2.4	41.4	39.7	7.7	2.5	1.3	1.7	1.0	0.8	0.2	1.2	84.4	12.2	3.3	100	0.0	100			12.3	10.3	77.5	

3. 動力農機具および主要家畜頭数

(動力農機具：2015年農林業センサス、主要家畜：2020年農林業センサス)

(第7表-3)

市町村名	動力農機具								主要家畜								備考		
	耕運機 トラクター		田植機		動力防除機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		にわとり 採卵			にわとり ブロイラー	
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	頭数 (頭)	戸数 (戸)	頭数 (頭)	戸数 (戸)	頭数 (頭)	戸数 (戸)	羽 (百羽)	戸数 (戸)		羽 (百羽)	戸数 (戸)
舞鶴市	627	581	560	544	-		489	480	219	5	x	2	-	-	2,930	6	-	-	
100戸当たり数量 台、頭)																			
利用戸数の割合 (%)																			

4. 主要作物作付状況

(2020年農林業センサス)

(第7表-4)

市町村名	舞鶴市				計	平均	作付率 (%)	備考
総本地面積 (ha)	401				401			
作物名	区分	作付面積 (ha)	単位面積当たり 収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり 収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり 収量 (kg/10a)	
水稲	稲	303				303	75.6	
麦類	類	-						
雑穀	穀	x						
いも類	類	x						
豆類	類	26				26	6.5	
工芸農作物		x						
野菜類	類	6				6	1.5	
花き類・花木		1				1	0.2	
果樹類	類	5				5	1.2	
その他		60				60	15.0	
計		401				401	100.0	
市町村別延べ作付率 (%)		100				100		

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指定等	備 考
	種別	B	A	種別	B	A	種別	B	A	種別	B	A	種別	B	A		
変 化 の 状 況  C年を100とする指数	総 農家数	79	63	田	52	48	水 稲	114	109	乳 用 牛	50	58	トラクター 耕運機	74	-	舞鶴市 農業振興 地域計画 S48.3  A:令和2年 (2020) B:平成27年 (2015) C:平成22年 (2010) 農林業センサス	
	専 業 農家数	121	65	畑	89	75	麦 類	-	-	肉 用 牛	-	-	田 植 機	71	-		
	第一種 兼 業 農家数	49	34	樹園地	76	64	豆 類	129	124	豚	-	-	コンバイン	70	-		
	第二種 兼 業 農家数	86	70	牧草地	-	-	野菜類	157	-	鶏 採 卵	25	52	防除機	-	-		
	農業従 事者数	71	29				花き類	20	20								
	変 化 の 理 由	小規模農家の農家離れ、担い手不足等により農家数が減少傾向にある。			農用地転用及び耕地面積の減少により減少傾向にある。			全般的に作付面積は2015年までは増加傾向に、以降は減少傾向にある。						農家数減少に伴う農機具数の減。			

第6節 地域環境の概況

地区内には河川が流れており、多種の水生生物や植物が生息する自然環境である。

## 第4章 一般計画

### 第1節 事業計画の要旨

#### 1. 要旨

本事業は当該地区（舞鶴市蒲江・油江地区）を対象に、農業競争力強化農地整備事業を実施し、農地の集積・集約化を図り、付加価値のある高収益作物の導入を推進するとともに、農地の有効利用や水管理の省力化などによって農業経営の安定を図り、自立した農業経営を展開する。

#### 2. 事業別面積

(第8表)

事業目的	事業名	農地競争力強化農地整備事業								計 (ha)	備考	
	土地利用区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	道水路 (ha)	非農用地 (ha)	ため池 (ha)	その他 (ha)					小計 (ha)
区画整理		16.6	0.2	6.2	1.1					24.1	24.1	
客土工		(16.6)	(0.2)							(16.8)	(16.8)	
計		16.6 (16.6)	0.2 (0.2)	6.2	1.1					24.1 (16.8)	24.1 (16.8)	

## 第2節 営農計画及び土地利用計画

### 1. 営農計画の概要

認定農業者である霜尾喜三氏を担い手とし、地域の発展を図る。  
作付計画16.6ha（水張面積）に対する内訳は、表作で水稻11.0ha、水稻（京の輝き）3.2ha、あずき0.9ha、落花生1.0ha、万願寺甘とう0.3ha、黒大豆0.2haを栽培する計画である。  
農地の利用集積として、事業完了時に85%以上の土地利用集積を目指す。

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左増減の内訳 (t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積	単位面積 当たり 収量増加	
	土地利用区分	水															
農地競争力強化農地整備事業	水	表作	水稻	8.4	11.0	2.6	79.2	66.3	475	485	10	39.9	53.3	13.4	12.6		
			京の輝き	1.7	3.2	1.5	16.0	19.3	550	561	11	9.3	17.9	8.6	9		
			万願寺甘とう	0.1	0.3	0.2	0.9	1.8	3,038	3,038	0	3.0	9.1	6.1	1.1		
			小豆	0.2	0.9	0.7	1.9	5.4	70	70	0	0.1	0.6	0.5	0.5		
			落花生	0.1	1.0	0.9	0.9	6.0	200	200	0	0.2	2.0	1.8	1.8		
	田	裏作															
	畑	春夏作	黒大豆	0.1	0.2	0.1	0.9	1.2	150	150	0	0.2	3.6	3.5	3.5		
	合計				(10.6)	(16.6)	(6.0)	(99.8)	(100.0)								( )は裏作を含む
				10.6	16.6	6.0	99.8	100.0									

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目		作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/ha)			備考		
					区分					
	土地利用区分	水田			畑	人	機械		力	現況
農地競争力強化農地整備事業	水田	水田	水稻	11.0	人	力	360.0	170.0	△ 190.0	
					機械	力	190.0	130.0	△ 60.0	
			京の輝き	3.2	人	力	360.0	170.0	△ 190.0	
					機械	力	190.0	130.0	△ 60.0	
			万願寺甘とう	0.3	人	力	950.0	880.0	△ 70.0	
					機械	力	30.0	40.0	10.0	
	小豆	0.9	人	力	1,040.0	320.0	△ 720.0			
			機械	力	210.0	150.0	△ 60.0			
	落花生	1.0	人	力	870.0	670.0	△ 200.0			
			機械	力	20.0	30.0	10.0			
畑	畑	黒大豆	0.2	人	力	1,040.0	320.0	△ 720.0		
				機械	力	210.0	150.0	△ 60.0		

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	小計	道水路	山林・原野	雑種地	非農用地	ため池	その他	小計	計	備考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
備強農地競争力	現況	21.2	0.2	21.4	2.7						2.7	24.1	
	計画	16.6	0.2	16.8	6.2			1.1			7.3	24.1	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	備考
農地競争力強化農地整備事業	現況	水稲 + 野菜	水稲 (京の輝き) 万願寺甘とう 小豆 落花生				○	—					×			○ 播種 □ 移植 △ 定植 × 収穫
							△	—	×			△	—	×		
農地競争力強化農地整備事業	計画	水稲 + 野菜	水稲 (京の輝き) 万願寺甘とう 小豆 落花生				○	—					×			○ 播種 □ 移植 △ 定植 × 収穫
							△	—	×			△	—	×		

6. 級地別土地利用区分 該当なし

(第9表-5)

土地 利用区分	区分 級地名	農用地造成 (ha)					(ha)					備 考
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農 地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草地)											
	(樹園地)											
	(果樹園)											
その他												
計												

7. 土地配分計画 該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分面積 (ha)							備 考
		田	輪換耕地	畑			計		
				普通畑	牧草地	樹園地			
増反 入植									

### 第3節 用水計画

1. 計画基準年 平成 22年  
平成5年～令和4年(30ヶ年)の舞鶴雨量観測所のデータをもとに確率計算を行い決定した。
2. 計画かんがい方式
  - (1) かんがい方式  
水田 … パイプラインによるかんがい  
畑 … パイプラインによるかんがい  
かんがい期間 4月 25日 ～ 9月 15日  
代掻期間 4月 25日 ～ 5月 4日
  - (2) かんがい期間

区分	作物	代 掻 期		生 育 期		備 考
		期 間	日 数	期 間	日 数	
水 田	水稻	4/25～5/4	10 日	5/6～9/15	134 日	
	京の輝き	4/25～5/4	10 日	5/6～9/15	134 日	
輪 換 畑	万願寺甘とう			4月～11月	8 ヶ月	
	小豆			7月～10月	4 ヶ月	
	落花生			7月～9月	3 ヶ月	
普 通 畑	黒大豆			6月～10月	5 ヶ月	

3. 計画用水系統  
別紙参照

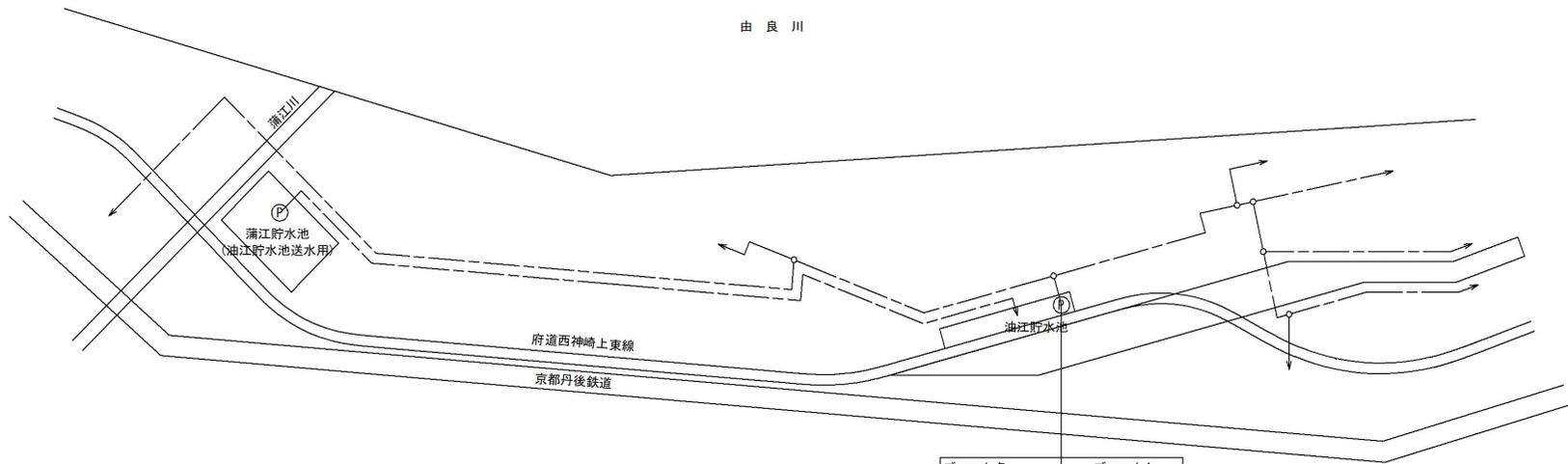
4. 計画用水量  
(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項 目	種 別	面積 (ha)	水 田 かん がい		水 田 畑 利 用 ※ 1			畑 地 かん がい			そ の 他		消 費 水 量 (m³/s)	損 失 率 (%)	粗 用 水 量		備 考		
			事業名	普通期	代掻期	受益面積 (ha)	1日当たり計画平均かん水深 (mm/日)	平均間断日数 (日)	受益面積 (ha)	1日当たり計画平均かん水深 (mm/日)	平均間断日数 (日)	受益面積 (ha)			計画平均単位用水量 (mm/日)	受益面積 (ha)		平 均	最 大
				農地競争力強化農地整備事業	計画平均単位用水量 (mm/日)														
油江貯水池	区整画理	17.4	21.4	150	17.2	3.0	6	0.2	-	-	-	-	-	0.031	10.00	0.031	0.039		
	区整画理																		

# 計画用水系統模式図

## 計画用水系統模式図



ブロック名	ブロック4
面積 (ha)	17.40
代かき期通水量	0.0683
普通期通水量	0.0491

ブロック名	ブロック4(地区内)		
面積 (ha)	16.80		
	所要水量	利用可能量	不足量
代かき期	0.0658	0.0658	0.0000
普通期	0.0473	0.0473	0.0000

ブロック名	ブロック4(地区外)		
面積 (ha)	0.60		
	所要水量	利用可能量	不足量
代かき期	0.0025	0.0025	0.0000
普通期	0.0018	0.0018	0.0000

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km <sup>2</sup> )		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用回数 (回)	最大取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
	事業名									
	直接	間接	計							
蒲江貯水池	0.024						2			
油江貯水池	1						17			

(イ) 井堰及び自然取入口 該当無し

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (Km <sup>2</sup> )	かんがい面積 (ha)			取水量 (m <sup>3</sup> /s)		渇水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
			農地競争力強化農地整備事業			最大	平均		
			地区内	地区外	計				

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m <sup>3</sup> /s)		揚水機				備考
		事業名			最大	最小	実揚程 (m)	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	台数 (台)	全揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	
		農地競争力強化農地 整備事業		計							
蒲江貯水池揚水機場	蒲江貯水池					0.0082	1.6	0.0082	1	0.0082	
油江貯水池揚水機場	油江貯水池	17.2		17.2	0.0859	0.049	4.1	0.0430	2	0.086	

(2) 営農飲雑用水 該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積 (ha)			日当たり給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考
		事業名			単位給水量 ( $\frac{m^3}{日}$ )	最大給水量 ( $\frac{m^3}{日}$ )			
				計					

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項目 区分	消費水量 (千m3)	有効雨量 (千m3)	純用水量 (千m3)	粗用水量 (千m3)	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考 損失率: $\alpha$
					水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
						e (千m3)	f (千m3)	$g = c - f$ ( $m^3/s$ )	$h = d - e$ ( $m^3/s$ )		(千m3)		
事業名	263.10	135.40	127.70	161.80		168.80	168.80	-	-	蒲江・油江貯水池	168.80		0.15, 0.40

## (エ) 用水路

(第10表-6)

## 1. 開水路

該当なし

項目 名称	かんがい面積 ha	最大通水量 ( $m^3/s$ )	延長 (m)	構造	備考
計			0.0		

## 2. 管路

項目 名称	かんがい面積 ha	計画流量 ( $m^3/s$ )	延長 (m)	構造	
第1号 支線用水路		0.0082	910.0	送水用	
第2号 支線用水路	17.40	0.0859	2.0		
第3号 支線用水路	10.21	0.0667	253.0		
第4号 支線用水路	0.03	0.0007	221.0		
第5号 支線用水路	9.68	0.0650	1,052.0		
第6号 支線用水路	7.19	0.0601	216.0		
第7号 支線用水路	0.16	0.0033	152.0		
第8号 支線用水路	6.16	0.0573	19.0		
第9号 支線用水路	0.48	0.0098	265.0		
第10号 支線用水路	5.68	0.0556	80.0		
第11号 支線用水路	3.80	0.0498	335.0		
第12号 支線用水路	1.88	0.0360	34.0		
第13号 支線用水路	0.21	0.0038	23.0		
第14号 支線用水路	1.67	0.0322	305.0		
計					

## (オ) その他の水源施設

該当なし

## (3) 水温水質

#### 第4節 排水計画

##### 1. 計画基準雨量

1/10年確率計画基準雨量 204.0 mm/day

1/2年確率計画基準雨量 109.0 mm/day

##### 2. 計画排水方式

自然流下・開水路

##### 3. 計画排水系統

別紙参照

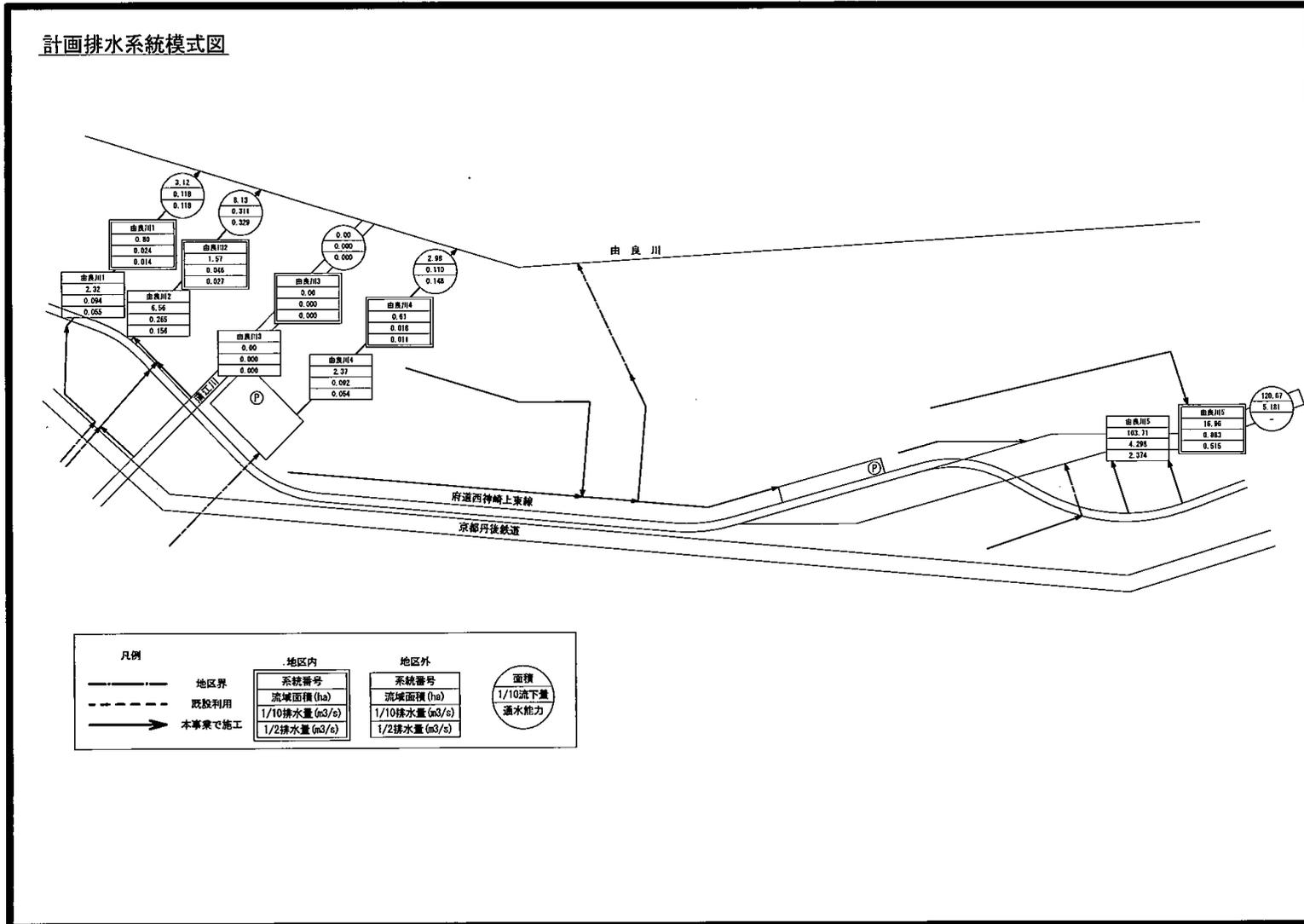
##### 4. 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水系統名	受益面積 (ha)				流域面積 (ha)		基準雨量 (mm)	降雨による直接 単位流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		基底流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		全排水量 (m <sup>3</sup> /s)		単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		備考
	地区内				山地	平地		山地	平地	山地	平地	自然排水	機械排水	自然排水	機械排水	
	田	畑	その他	計												
由良川1	0.80			0.80	2.32			4.21	2.74			0.1180	-	38		
由良川2	1.57			1.57	6.56			4.21	2.74			0.3110	-	35		
由良川3	-				-			4.21	2.74			-	-	-		
由良川4	0.61			0.61	2.37			4.21	2.74			0.1100	-	37		
由良川5	16.96	-		16.96	103.71			4.21	2.74			5.1810	-	43		
計	19.94			19.94	114.96							5.720		153		

# 計画排水系統模式図

計画排水系統模式図



5. 排水対策

(1) 排水水門 該当なし

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)			計画排水量		排水本川			備考
		事業名	計	計	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内湛水深 (m)	名称	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)	
計										

(2) 排水機 該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)			計画排水量		排水機				備考
		事業名	計	計	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内湛水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	台数 (台)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	
計											

(3) 排水路

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)		計画排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
		事業名					名称	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)	
		農業競争力強化 農地整備事業	計							
第1号支線排水路	0.0232	0.80	0.80	0.1180	184.0	BF550	由良川			
第2号支線排水路	0.0607	0.90	0.90	0.2920	59.0	BF600				
第3号支線排水路	0.0049	0.00	0.00	0.0140	174.0	BF250				
第4号支線排水路		0.67	0.67	0.3110	51.0	BF600				
第5号支線排水路			0.00		161.0	BF250				
第6号支線排水路	0.0237	0.61	0.61	0.1100	129.0	UF400(既設利用)				
第7号支線排水路		0.50	0.50	0.0150	154.0	BF250				
第8号支線排水路	0.3970	0.66	0.66	2.4530	152.0	3AP H900×B3000				
第9号支線排水路			0.00		154.0	BF250				
第10号支線排水路	0.0712	0.66	0.66	0.7810	143.0	3AP H600×B1200				
第11号支線排水路	0.0534	3.49	3.49	0.3290	561.0	3AP H500×B800				
第12号支線排水路		4.60	4.60	0.1350	696.0	BF550				
第13号支線排水路	0.0275	0.25	0.25	0.1060	118.0	BF400				
第14号支線排水路	0.0515	0.32	0.32	0.2160	63.0	BF500				
第15号支線排水路	0.0487	1.11	1.11	0.1640	58.0	BF450				
第16号支線排水路		5.37	5.37	0.1580	579.0	BF550				
計	0.7618		19.94		3436.0					

(2) 排水機 該当なし

6. 湛水検討 該当なし

## 第5節 道路計画

### 1. 道路及び索道

#### (1) 道路

(第12表-1)

路線名	幅 ( (有効) ) x 延長			構造 (舗装)	既設道路との関係	備考
	m	m	m			
第1号支線道路	4.0	( 3.0 )	383.0	砂利	府道に取付	
第2号支線道路	4.0	( 3.0 )	183.0	砂利	府道に取付	
第3号支線道路	4.0	( 3.0 )	134.0	砂利	府道に取付	
第4号支線道路	4.0	( 3.0 )	1231.0	砂利	府道に取付	
第5号支線道路	4.0	( 3.0 )	437.0	砂利	農道に取付	
第6号支線道路	4.0	( 3.0 )	89.0	砂利	府道に取付	
第7号支線道路	4.0	( 3.0 )	219.0	砂利	農道に取付	
第8号支線道路	4.0	( 3.0 )	83.0	砂利	府道に取付	
第9号支線道路	4.0	( 3.0 )	619.0	砂利	府道に取付	
第10号支線道路	4.0	( 3.0 )	283.0	砂利	農道に取付	
第11号支線道路	4.0	( 3.0 )	121.0	砂利	農道に取付	
第12号支線道路	4.0	( 3.0 )	305.0	砂利	農道に取付	
第13号支線道路	4.0	( 3.0 )	183.0	砂利	府道に取付	
第14号支線道路	4.0	( 3.0 )	52.0	砂利	府道に取付	
第15号支線道路	4.0	( 3.0 )	222.0	砂利	府道に取付	
計			4,544.0			

(2) 索 道 該当なし

(第12表-2)

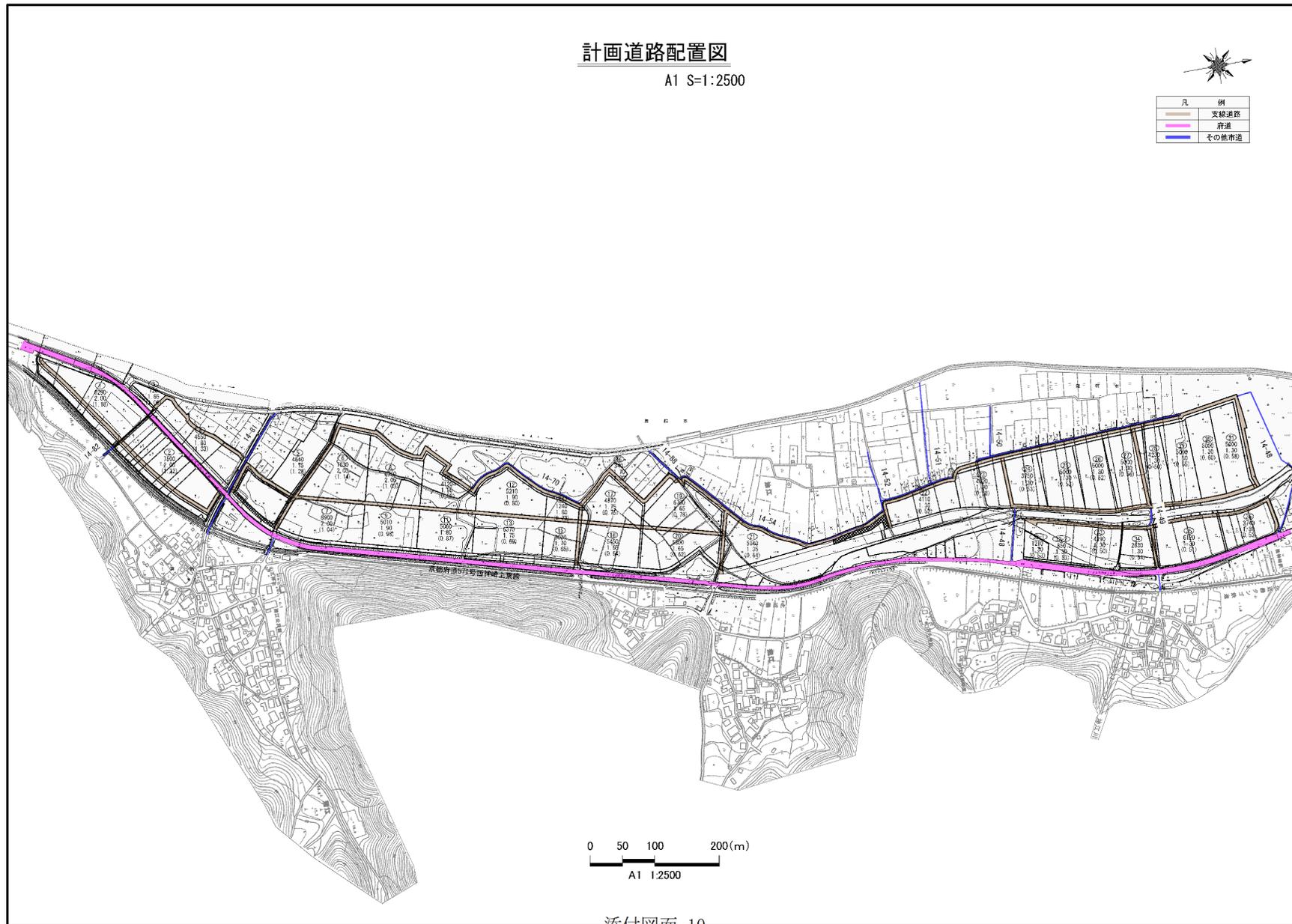
路線名	項 目	能力 (t / h r)	延 長 (m)	接続道路名	備 考

2. 路 線 配 置 図 別紙計画平面図参照

第6節 農用地造成計画 該当なし

第7節 洪水調整計画 該当なし

2. 計画道路配置図



添付図面 10

第8節 干拓計画 該当なし

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺 × 短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
100×30	0.30	4.5	26.8		水田
100×50	0.50	11.5	68.5		水田
	0.3ha未満	0.6	3.6		水田
	0.1ha未満	0.2	1.2		畑
計		16.8	100.0		

(2) 表土扱い

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m <sup>3</sup> )	備考
16.8	地力保全	15	25,200	

(3) 末端水路配置図 該当なし

2. 暗渠排水 該当なし

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

区分	項目	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ( $\frac{t}{s}$ /ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口 以下の排水方法	備考
		工種								
		本暗渠	湧水処理	計						
	計									

(2) 心土破砕

(第16表-3-2)

区分	項目	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	土壌硬度	備考
		事業名					
				計			
	計						

3. 客土

(第16表-4)

区分	項目	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a 当たり 客土量 (m <sup>3</sup> )	土壌の性質		備考
		事業名				現況	計画	現況	計画		受益地 (%)	採土地 (客土材料) (%)	
		農地競争力強化農地 整備事業		計		平均	平均	平均	平均				
	排水改良	16.8		16.8	グライ土壌 粘土型 E42					1,342			
	計	16.8		16.8									

4. 農地保全 該当なし

(1) 防災林

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

(2) 排水工

(第16表-5-2)

項目 名称	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
				単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/ha)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	

(3) 浸食（崩壊）防止工

(第16表-5-3)

項目 施設名	位置	支配面積 (ha)	機能	備考
計				

第10節 老朽ため池改修計画 該当なし

## 第5章 主要工事計画

### 第1節 用水施設

#### 1. 貯水池（蒲江貯水池/油江貯水池）

(第17表-1)

名称	型式	流域面積 (km <sup>2</sup> )		位置		基礎地盤地質	貯水量 (m <sup>3</sup> )		備考
		直接	間接	堤高 (m)	堤長 (m)		堤体積 (m <sup>3</sup> )	総貯水量	
堤体		0.024/1.000					2000/17000		
洪水吐	型式	洪水吐 (m <sup>3</sup> /s)		取水施設	型式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	放流施設	型式	放流量 (m <sup>3</sup> /s)

#### 2. 頭首工 該当なし

(第17表-2)

名称	位置			取水位 (m)	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	付帯施設	備考
型式	堤高 (m)	堤長 (m)					
		固定部	可動部	計			

#### 3. 揚水機

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (kw)	台数 (台)	
蒲江揚水機場	蒲江貯水池	0.0082	18.0	1.6	水中ポンプ	φ80	1		5.5	1	
油江揚水機場	油江貯水池	0.0432	17.0	4.1	水中ポンプ	φ150	2		18.5	2	

4. 用水路

(第17表-4)

1. 開水路 該当なし

項目 名称	かんがい面積 ha	最大通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)	構造	勾配 S=1/	主要構造物	備考
計			0.0				

2. 管路

項目 名称	かんがい面積 ha	最大通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)	構造 (m/m)	土かぶり	主要構造物	備考 (水源名)
第1号 支線用水路		0.0082	910.0	VU φ 100	0.6m	一筆給水工	蒲江貯水池
第2号 支線用水路	17.40	0.0859	2.0	VU φ 300	0.6m		油江貯水池
第3号 支線用水路	10.21	0.0667	253.0	VU φ 125	0.6m		油江貯水池
第4号 支線用水路	0.03	0.0007	221.0	VU φ 75	0.6m		油江貯水池
第5号 支線用水路	9.68	0.0650	1,052.0	VU φ 250	0.6m		油江貯水池
第6号 支線用水路	7.19	0.0601	216.0	VU φ 250	0.6m		油江貯水池
第7号 支線用水路	0.16	0.0033	152.0	VU φ 75	0.6m		油江貯水池
第8号 支線用水路	6.16	0.0573	19.0	VU φ 250	0.6m		油江貯水池
第9号 支線用水路	0.48	0.0098	265.0	VU φ 125	0.6m		油江貯水池
第10号 支線用水路	5.68	0.0556	80.0	VU φ 250	0.6m		油江貯水池
第11号 支線用水路	3.80	0.0498	335.0	VU φ 250	0.6m		油江貯水池
第12号 支線用水路	1.88	0.0360	34.0	VU φ 200	0.6m		油江貯水池
第13号 支線用水路	0.21	0.0038	23.0	VU φ 75	0.6m		油江貯水池
第14号 支線用水路	1.67	0.0322	305.0	VU φ 200	0.6m		油江貯水池
計							

5. その他かんがい施設 該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門

(第18表-1)

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
潮止ゲート			スライドゲート			5.181	

2. 排水機 該当なし

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (kw)	台数 (台)	

3. 排水路

項目 名称	かんがい面積 ha 農業競争力強化 農地整備事業	最大通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)	構造	勾配 S=1/	主要構造物	備考
第1号支線排水路	3.12	0.118	184	BF550	1/1000	一筆排水工	
第2号支線排水路	7.46	0.292	59	BF600	1/700		
第3号支線排水路	0.49	0.014	174	BF250	1/1200		
第4号支線排水路	8.13	0.311	51	BF600	1/500		
第5号支線排水路			161	BF250	1/700		
第6号支線排水路	2.98	0.11	129	UF400(既設利用)	-		
第7号支線排水路	0.50	0.015	154	BF250	1/700		
第8号支線排水路	61.34	2.453	152	3AP H900×B3000	1/1500		
第9号支線排水路			154	BF250	1/700		
第10号支線排水路	21.21	0.781	143	3AP H600×B1200	1/1500		
第11号支線排水路	8.83	0.329	561	3AP H500×B800	1/1500		
第12号支線排水路	4.60	0.135	696	BF550	1/1500		
第13号支線排水路	2.75	0.106	118	BF400	1/600		
第14号支線排水路	5.15	0.216	63	BF500	1/500		
第15号支線排水路	4.28	0.164	58	BF450	1/500		
第16号支線排水路	5.37	0.158	579	BF550	1/1500		

4. その他排水施設 該当なし

### 第3節 道路及び索道

#### 1. 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 種別名	路線数	幅(有効) × 延長 (m) (km)	構造	付帯構造物			最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線 半 径 (m)	
				名称	構造	数量 (箇所)				
支線道路	14	4.0 × (3.0) 3.9	砂利							
		× ( )								
		× ( )								
計		3.9				0				

(2) 道路主要構造物 該当なし

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延 長 (m)	箇所数 (箇所)	備 考

#### 2. 索道 該当なし

(第19表-3)

項目 名称	延 長 (m)	高低差 (m)	能 力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				型 式	動 力 ( )	

- 第4節 農用地造成 該当なし
- 第5節 洪水調整施設 該当なし
- 第6節 干拓施設 該当なし
- 第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表土扱い		備 考
		標 準 区 画	土 量 (m <sup>3</sup> )	面 積 (ha)	土 量 (m <sup>3</sup> )	
蒲江・油江	16.8	50×100m	-	16.8	25,200	
計	16.8		-	16.8	25,200	

(2) 末端用水路等 該当なし

(第23表-2)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
計					

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
	支排14号 現況取付工	1			
	支排15号 現況取付工	1			
	支排16号 現況取付工	1			
計		3			

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水 該当なし

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha)			集水渠				吸水渠					集水渠出口以下の排水施設			備考	
	工種			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造		数量 (m/ha)
	本暗渠	湧水処理	計														
計																	

(2) 心土破砕 該当なし

(第23表-4-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

3. 客土

(第23表-5)

項目 区分	面積 (ha)			客入土量 (m <sup>3</sup> )	土取場土量 (m <sup>3</sup> )	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	事業名							
	農地競争力強化農地整備事業		計					
排水改良	16.8		16.8	225,000			ダンプトラック	
計	16.8		16.8					

4. 除 礫 該当なし

(第23表-6)

項目	対象土層の厚さ (cm)	ha 当たり 標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工 法	備 考
区分					
計					

5. 農地保全 該当なし

(1) 防災林

(第23表-7)

項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹 種	植栽本数 (本)	備 考
区分						
計						

(2) 排水路

(第23表-8)

項目	延長 (m)	流量 (m <sup>3</sup> /s)	構 造	備 考
区分				
計				

(3) 浸食防止工

(第23表-9)

項目	構 造	数 量	備 考
区分			
計			

第8節 老朽ため池改修施設 該当なし

第6章 附帯工事計画 該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手予定 令和 7年

完了予定 令和 13年

第8章 環境との調和への配慮

表土扱いによって維持再生を図る。

## 第9章 換地計画の概要

### 第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

当該換地及び従前の土地につき、自然条件及び利用条件を総合的に勘案して、換地が従前の土地と照応していることを前提に集団化を図る。

但し、借り手農家の利用集積を図るため、貸し手農家の同意を前提に、必ずしも従前地にこだわらず集団化する場合もある。

### 第2節 換地区の設定

#### 1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
蒲江・油江	京都府舞鶴市字蒲江、油江地内	24.1

#### 2. 換地区を設定する理由

該当なし

### 第3節 換地区計画樹立の基本方針

#### 1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
蒲江・油江	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。ただし、上記の日から3か月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合（費用については自己負担）は、その申出のあった地積とする。



4. 非農用地の換地方法

(第25表-5)

区分 換地区名	番号	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 ( $m^2$ )	換地の手法	換地取得予定者	資金計画 および 計画年次
蒲江・油江		府道バイパス用地	字蒲江小字野田344番1先～字油江小字久古町128番2	11,164	不換地・特別減歩見合いの創設換地	京都府	
			計		1,120		
	合計	内	訳				
計							

#### 第4節 土地の評価及び清算の方法

##### 1. 評価の方法

標準地比準方式

##### 2. 清算の方法

比例地積清算方式（従前地地積比例）

#### 第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分 予定年度	備 考
蒲江・油江	令和9年度～12年度	令和13年度	令和13年度	

#### 第6節 換地処分の時期に関する特則

換地区名	選 定 事 務			処 分 事 務			備 考
	直営委託の区分	担当者格付け	着手期間	直営委託の区分	担当者格付け	完了期間	
蒲江・油江	委託  従前図調整 従前地再調査 換地設計基準確定 評価基準及び評価 工事後の土地評価 換地計画原案作成	京都府土地改良 事業団体連合会	工事着手 令和9年度  換地選定事務 令和9年度	委託  換地計画書作成 換地計画決定 換地処分 換地処分登記	京都府土地改良 事業団体連合会	工事完了 令和12年度  換地計画樹立 令和13年度  換地処分 令和13年度	

## 第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

区 分	事 業 費
整 地 工	244
道 路 工	24
用 水 路 工	328
機 場 工	-
送 水 路 工	-
ため池整備工	-
排 水 路 工	153
暗 渠 排 水 工	-
客 土	
農業用排水施設整備事業	
小 計	749
測 量 試 験 費	101
用 買 ・ 補 償 費	14
換 地 ・ 確 測 費	39
計	903
高度化推進事業	95
合 計	998

(単位：百万円)

## 第11章 効 用

(第27表)

(単位：千円)

事業名	区 分	項 目	年総効果（便益）額	年増加農業所得額		現況年 総農業所得額	備考
					うち機能向上分		
事 業 地 競 争 力 強 化 農 地 整 備	食料の安定供給の確保に関する効果		55,294	57,108	57,108		
		作物生産効果	1,143	2,957	2,957		
		営農経費節減効果	55,349	55,349	55,349		
		維持管理経費節減効果	△ 1,198	△ 1,198	△ 1,198		
	農業の持続的発展に関する効果		219				
		耕作放棄防止効果	219				
	農村の振興に関する効果		3,708				
		地籍確定効果	597				
		非農用地等創設効果	3,111				
	その他効果		1,440				
		国産農産物安定供給効果	1,440				
		計	60,661	57,108	57,108	3,387	

総 費 用 : 787,855 千円

総 便 益 額 : 1,029,753 千円

総費用総便益比 : 1.30

増加所得償還率 : - %

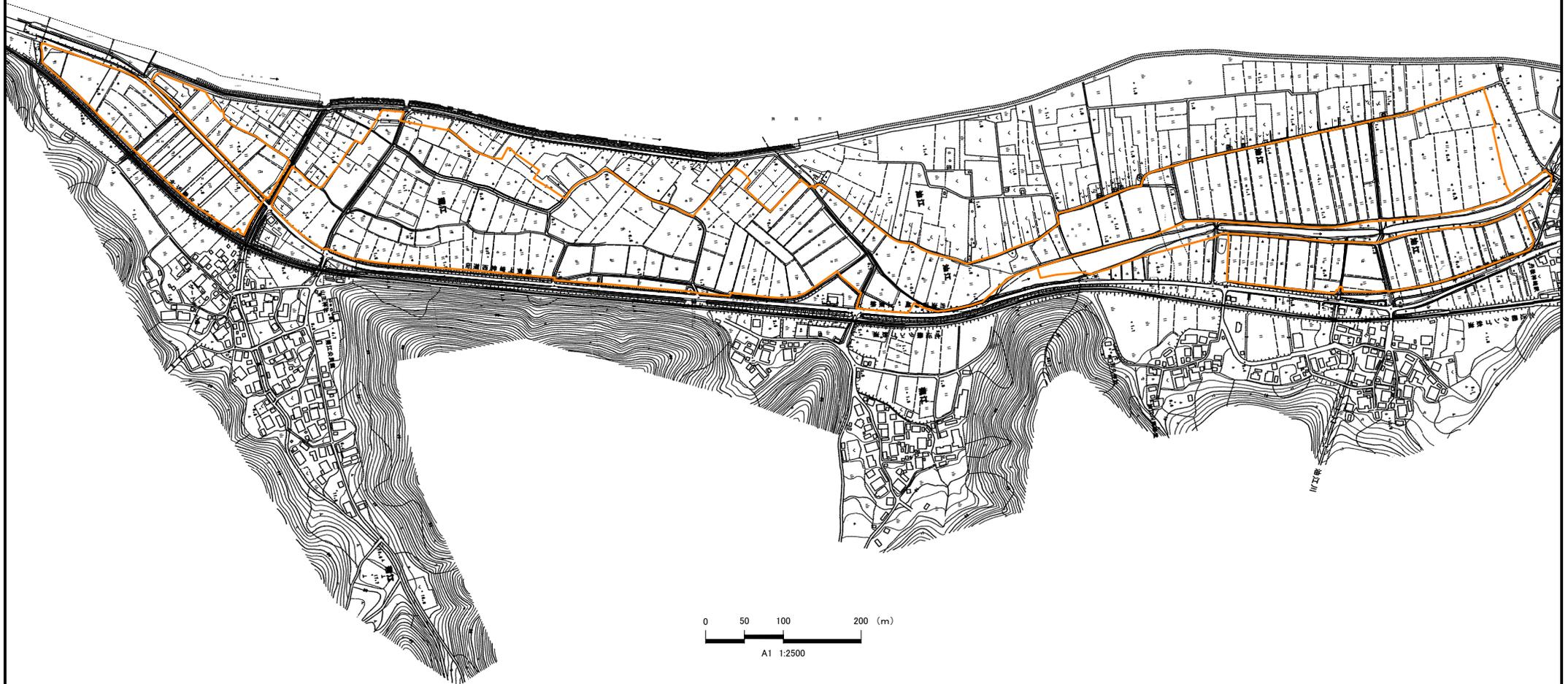
## 第12章 関 連 す る 事 業 該 当 な し

## 第13章 現況・計画図面

1. 現況平面図
2. 計画平面図
3. 土地利用計画図
4. 標準構造図

現況平面図

A1 S=1:2500



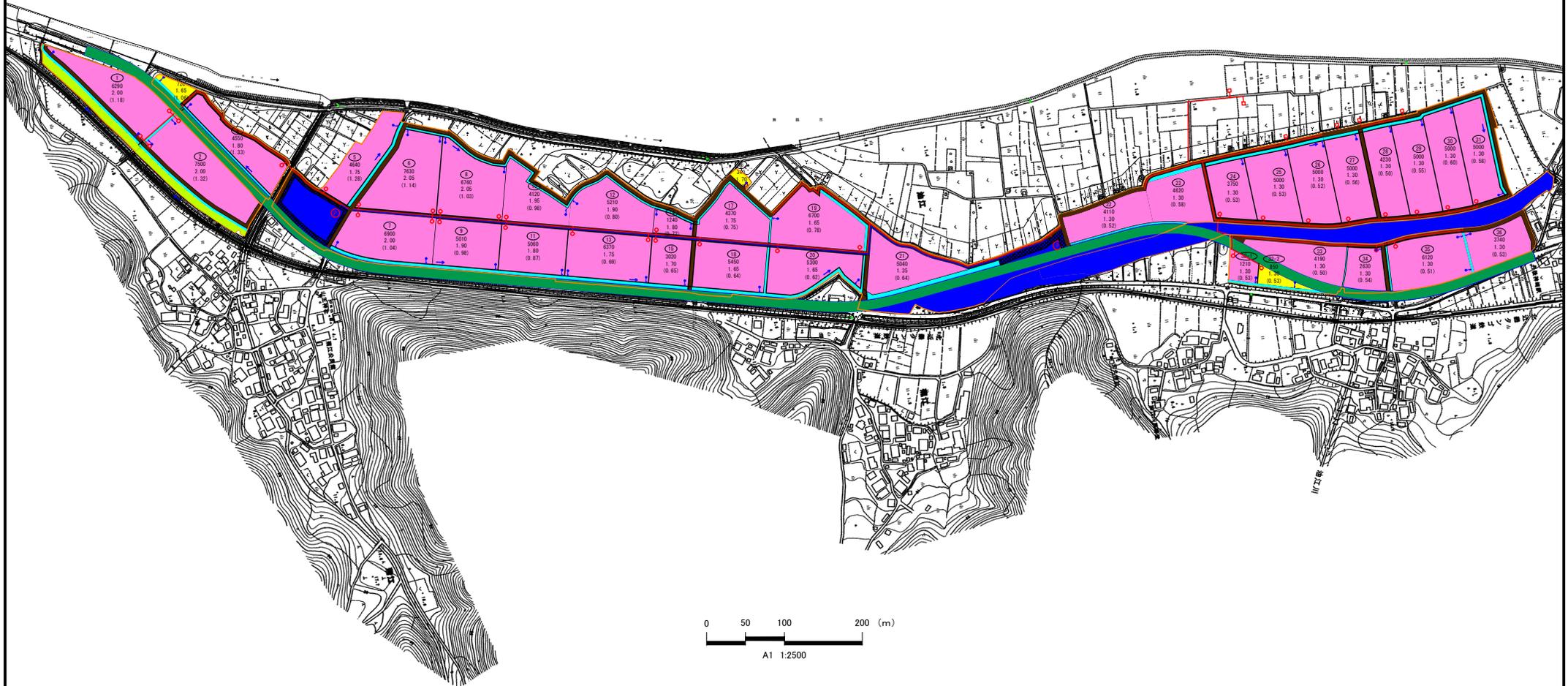
# 計画平面図

A1 S=1:2500



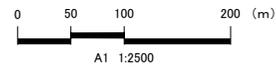
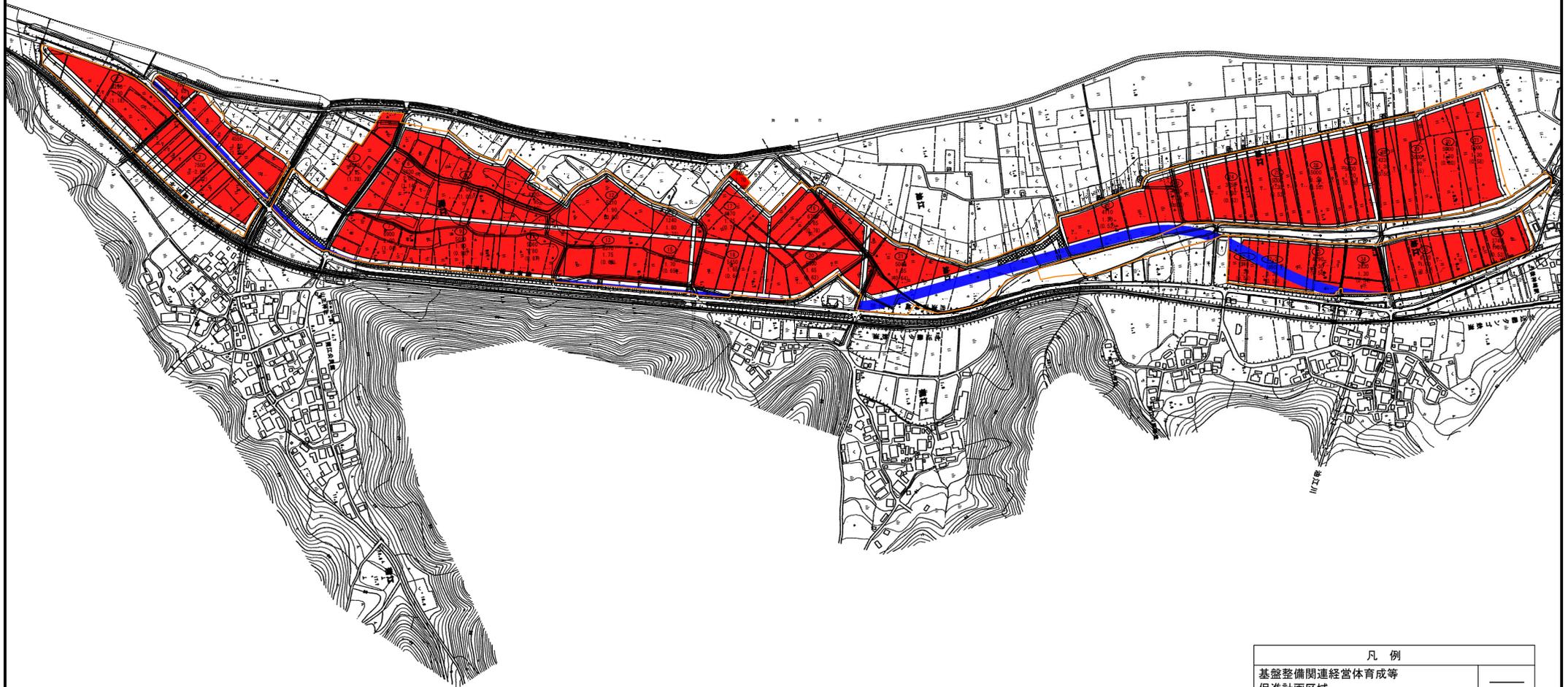
凡 例

	等高線
	積区面積 (m <sup>2</sup> )
	計画標高 (m)
	容土前一時標高 (m)
	田畑輪換耕地
	永久畑
	非農用地
	管理溝畔
	支線道路
	支線用水路
	支線排水路
	ハイライン
	ポンプ場



土地利用計画図

A1 S=1:2500



凡例		
基盤整備関連経営体育成等 促進計画区域	—	
集積状況	高生産性農業型ほ場区域	■
	集約農業型ほ場区域	■
	条件不利区域	▨
	農地転用区域	▨
	非農用地	■

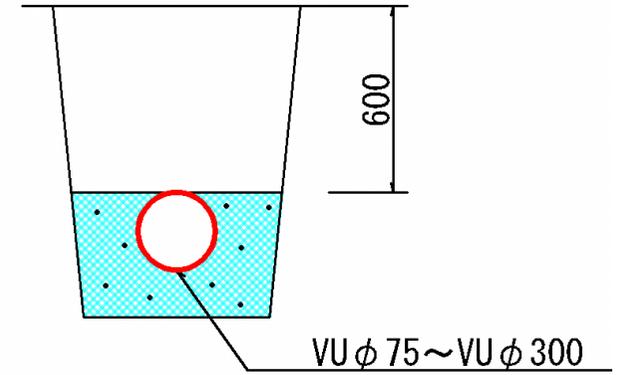
標準構造図

A1 S=1:Free

支線道路



支線用水路



支線排水路

